

### 東京 2020 に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等連絡会議

競技会場やその周辺に加え、街づくりの一環として暑さ対策を進め、アスリート、観客等が過ごしやすい環境を整備することを目的に設置

【構成】関係省庁(内閣官房他11府省庁)、組織委員会、東京都(環境局、オリパラ準備局)

【開催状況】  
○第1回 設置・事務局から課題の提示(H27.5)  
○第2回 関係府省庁等から方針の説明(H27.7)  
○第3回 中間とりまとめ(H27.9)

#### 「中間とりまとめ」の概要

#### ○都の長期ビジョンを踏まえた取組を反映

##### (具体的対策)

#### 1. 競技会場等の暑さ対策

①新設会場、仮設会場等の暑さ対策  
(組織委員会、東京都)

②マラソン、競歩沿道等の暑さ対策  
(国交省、組織委員会、東京都)

③夏期の大規模イベント等での熱中症対策  
指針の策定及び検証(環境省)

#### 2. 多様な情報発信の実施

①外国人等に対する熱中症等関連情報の提供に係る検討体制の立上げ  
(環境省、総務省消防庁、厚労省、気象庁、内閣官房、観光庁、外務省等)

②外国人等に対する熱中症等関連情報の発信(2. ①の関係省庁・機関等)

③大会公式ウェブサイト等を通じた情報発信(組織委員会)

#### 3. 救急医療体制の整備

①観客等の熱中症に係る救急体制の整備(総務省消防庁)

②聴覚・言語機能障害者等を対象とした救急搬送等に係る緊急通報の多様化(総務省消防庁)

③病院における外国人受入を含めた医療体制の整備(厚労省、東京都)

④大会運営における応急体制の整備(組織委員会、厚労省、総務省消防庁、東京都)

#### 4. 暑さ対策に係る技術開発や熱中症対策等に係る予測技術開発等

①都市の熱環境解析を踏まえた暑さ指数の効果的な示し方(環境省、文科省)

②気象情報に係る予測精度の向上及び充実(気象庁)

③暑さ対策に係る技術の検証及び導入促進(経産省、環境省、農水省、東京都)

④ゲリラ豪雨等予測の高度化(内閣府)

#### 【東京都長期ビジョン(H26.12 策定)】

- ・ドライ型ミストの設置、花や緑の整備などに積極的な区市町村や事業者を支援し、暑さを緩和するクールスポットを創出
- ・遮熱性舗装や保水性舗装を都道で毎年約10km整備することにより、道路の路面温度上昇を抑制
- ・都道の街路樹や公園の樹木を適切に維持・管理することにより、夏の強い日差しを遮る木陰を確保
- ・屋外競技の施設では、場所に応じた効果的な暑さ対策を導入し、観客が感じる暑さを軽減。また、大会向けの対策が引き続き活用され、真夏でも利用者が感じる暑さを緩和
- ・熱中症の予防に関する広報を引き続き推進

### 今後の進め方(案)

#### (主な検討項目と関係機関)

##### 1-① 新設会場等の暑さ対策

- 新設会場：オリパラ準備局、財務局、都市整備局、建設局、港湾局、組織委員会
- 既存会場：オリパラ準備局、組織委員会
- 会場周辺施設：建設局、港湾局

⇒ 今後具体化する基本設計・実施設計の中で検討

##### 1-② マラソン沿道等の暑さ対策

- 都道：建設局、港湾局、組織委員会
- 区市道：建設局、組織委員会
- 国道：国土交通省、建設局、組織委員会

⇒ 「アスリート・観客にやさしい道の検討会※」の中で、対策を推進

※国交省において設置した東京都や組織委員会、有識者等を委員とする検討会

##### 2 多様な情報発信の実施

- 外国人等に対する熱中症等関連情報の提供：関係省庁、組織委員会、オリパラ準備局、環境局

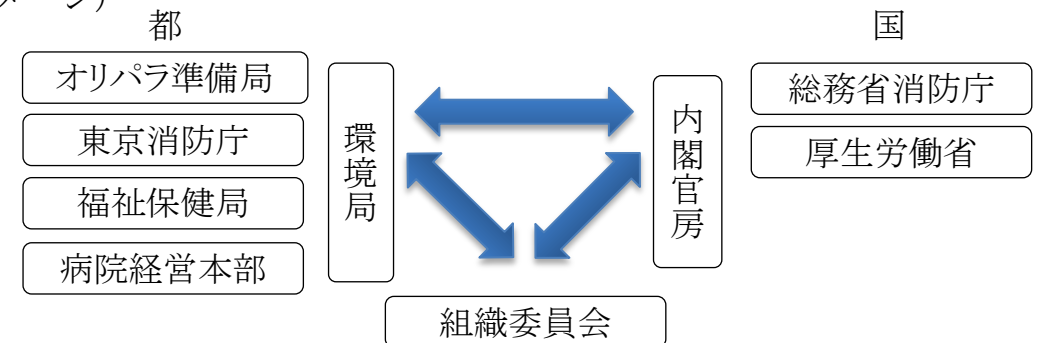
⇒ 内閣官房が立ち上げるWGを活用し検討を推進

##### 3 救急医療体制の整備

- 大会運営における応急体制の整備：組織委員会、厚生労働省、総務省消防庁、東京消防庁、福祉保健局、オリパラ準備局
- 観客等の熱中症に係る救急体制の整備：総務省消防庁、東京消防庁
- 病院における外国人受入を含めた医療体制の整備：厚生労働省、福祉保健局、病院経営本部

⇒ 環境局及び内閣官房が、各局及び関係省庁との窓口となり、連絡・調整を実施

(イメージ)



⇒ 関係局・国・組織委員会が連携を強化し、課題を共有、対策を展開・発信